

パブリックコメント手続きの実施結果について

案件名	第4次伊東市観光基本計画（原案）
募集期間	令和5年12月25日から令和6年1月29日まで
担当課	観光経済部観光課
意見提出者等	3人・7件

「第4次伊東市観光基本計画（原案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	19	<p>第2章 計画の背景 6. 上位・関連計画</p> <p>静岡県観光協会や静岡県観光局主催の商談会、勉強会には是非ご出席して頂ければと思います。</p> <p>(コロナ前後から私は出ていないので、もし現在出られているのならすいません)</p> <p>その他組織との連携とありますが、商工会議所観光部会やその他市内団体との連携、会議への出席を是非お願いしたいです。課題や目標の共有が大切だと思います。</p>	<p>本項目は、計画の上位計画である伊東市総合計画における観光政策の推進に関する基本的な考え方を整理しており、ご指摘の内容は伊東市総合計画の内容であることから、<u>原案のとおり</u>とさせていただきます。なお、ご指摘のとおり、県が実施する広域観光施策による成果を本市が十分に享受できるよう連携を強化するとともに、市内関係団体と積極的に協議を行うことで本市の観光課題の把握に努めてまいります。</p>
2	31	<p>第3章 本市観光の現状と課題 5. 本市観光の課題</p> <p>DMOとも関連はありますが「マーケティング」も課題として行って頂きたいです。</p>	<p>本項目の(2)にて、誘客の対象となる層へのマーケティングの必要性について記載し、本市の課題として捉えていることから<u>原案のとおり</u>とさせていただきます。ご指摘の内容につきましては、本市の観光を推進する上で重要な課題であることから、課題解決に向けて積極的に取り組んでまいります。</p>
3	20・21の間	<p>第3章 本市観光の現状と課題</p> <p>表紙の写真は東伊豆町で撮影されたものだと思います。本市の現状と課題の章ということもあり、市内の写真を掲載したらいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、<u>写真を変更</u>いたします。</p>

No.	頁	意見内容	市の考え方
4	43	<p>第4章 本市観光の方向性 6. 地区別の方向性</p> <p>(6)各地区の目指す方向性 (ア) 宇佐美地区 地区の特徴(強み)</p> <p>(1) 20m道路を「絶景」と表現するのは、地区の特徴として馴染まないのではないか。</p> <p>(2) 「海沿いの遊歩道」は「車道脇の遊歩道」である訳で、騒音や排気ガスの影響もあることから、観光の計画における地区のシンボルとして馴染まないのではないか。</p> <p>(3) 観光という視点から地区の特徴を述べるのであれば、宇佐美には自然と歴史と物語があることを連想できる方が良いのではないか。</p>	<p>(1) ご指摘のとおり、20m道路を「絶景」と表現することや、観光の計画における地区の強みとして掲載することは違和感があるため削除いたします。</p> <p>(2) 海を近くに感じながら散策することができることは、地区の特徴であると考えますので、「<u>海沿いの遊歩道</u>」は原案のとおりとさせていただきます。</p> <p>(3) 地区の特徴に「歴史文化遺産」を新たに追記いたします。</p> <p><u>地区の特徴 (3・4行目)</u> 四季の美しさ、ウォーキングコースや<u>歴史文化遺産</u>が魅力で都心へのアクセスも良好</p>

No.	頁	意見内容	市の考え方
5	43	<p>第4章 本市観光の方向性 6. 地区別の方向性 (6)各地区の目指す方向性 (ア) 宇佐美地区 目指す将来像・施策の方向性</p> <p>「コンパクト」という用語は、都市計画でいういわゆる「コンパクトシティ」から連想しているのでしょうか。「観光」を視点とする場合、観光に関する資源、施設等を集約するのではなく、むしろ、伊東市街地や南部地域と宇佐美がそれぞれの地区の個性を発揮しつつ（あるいは発揮した上で）、有機的に結びつくことが大事ではないかと思えます。他の地区では「コンパクト」という表現はないようですので、宇佐美を「コンパクトなまち」と言ってしまったのでは、観光的な意味でのまちの個性の表現からは少し逸脱してしまうように思えます。本計画は、観光に関する計画ですから、都市施設の集約や生活利便性の視点ではなく、視点を観光に移した「将来像」にした方がよいのではないかと思えます。これまで、宇佐美地区では、自然他に「歴史文化遺産」が観光の大事な柱の一つになっていたと思えますことから、また、その他の基本的な計画においても宇佐美地区の「歴史文化遺産」については必ず言及のあることから、「歴史文化遺産」を記載すべきだと思います。</p>	<p>宇佐美地区は、「狭いエリアにいろいろな魅力が詰まっている」という伊東観光みらい塾での意見を尊重し、「コンパクト」という表現を用いておりましたが、「コンパクト」という表現が、ご指摘のとおり都市計画における「コンパクトシティ」を連想させてしまい、都市機能を集束させる意味として捉えられてしまうことや、また、宇佐美地区における「歴史文化遺産」の必要性を踏まえて、以下のとおり変更いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【目指す将来像】 アウトドアを満喫できる<u>コンテンツが集積したまち</u> ・【施策の方向性】 自然と<u>歴史文化遺産</u>とアウトドアをテーマにしたネットワーク形成 ・<u>自然を軸にした体験価値の向上</u>（2行目） 「…アウトドアと<u>歴史文化遺産</u>の魅力が融合した…」 ・<u>地区内回遊の促進</u>（1行目） 「<u>自然、歴史文化遺産、アウトドアが集積したまち</u>の構造を活かして、…」
6	43	<p>第4章 本市観光の方向性 6. 地区別の方向性 (6)各地区の目指す方向性 (ア) 宇佐美地区 写真 (原案) の写真は宇佐美ではないと思えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、<u>写真を変更</u>いたします。</p>

No.	頁	意見内容	市の考え方
7	43	<p>第4章 本市観光の方向性 6. 地区別の方向性 (6)各地区の目指す方向性 (ア) 宇佐美地区 施策の方向性</p> <p>(1) 「宇佐美の隠れた魅力の発信」を「宇佐美の優れた魅力の発信」に修正 新たに隠れた魅力を探すのではなくて、すでにある（顕在化している）優れた魅力を発信するとした方がいいのではないかと思います。</p> <p>(2) 本項目の2行目「景色」を「景観」に修正</p> <p>(3) (例)の内容を「山側から海を見下ろす景観スポット」、宇佐美の浜の「サンロード」、宇佐美の浜の「ムーンロード」に修正 宇佐美の浜から見る水平線から昇る朝日は何度も見たことはありますが、20 m道路からは見たことがありません。宇佐美の浜の「サンロード」も素晴らしく、元旦の宇佐美の浜は、多くの観光客や地元の人でいっぱいです。 「～遊歩道（ムーンロード）」は何の意味か分かりにくく、「遊歩道から見るムーンロード」という意味でしょうか。それなら浜に降りれば、もっと近くでムーンロードを見ることができます。</p>	<p>(1) 「…隠れた魅力の発信」という表題につきましては、地元の人には知られていても、これまで伝えることができなかった（伝えていなかった）魅力を発信していくという意味ですので、<u>原案のとおり</u>とさせていただきます。</p> <p>(2) ここでの趣旨は、優れている風景や眺望を楽しめる場所という意味ですので、「<u>景観</u>」の方が適切であることから、<u>ご指摘のとおり修正</u>いたします。</p> <p>(3) ご指摘を踏まえ、以下のとおり変更いたします。 (例)・山側から海を見下ろす景観スポット ・<u>宇佐美の浜の「サンロード」「ムーンロード」</u></p>